



大東西中学校だより

若葉の力 <4月号>

川崎市立大東西中学校

学校だより

令和5年度 第1号

令和5年4月11日発行

学校教育目標 『豊かな心を持ち、たくましい生徒 ～ 夢や希望をもつ生徒 ～ 』

○自ら考え、自ら学ぶ生徒 ○豊かな心を育む生徒 ○心身の健康に努める生徒

「学び合い、認め合う中で、自己を磨き高めることができる学校」を目指して

校長 小金井 幸則

日頃より、本校の教育活動に対しまして、温かいご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。本年度も「学び合い、認め合う中で、自己を磨き高めることができる学校」を目指して、教職員一同、一丸となって教育活動に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

4月10日（月）、快晴の中、令和5年度の始業式と入学式が行われました。今年度は、126名の新入生を含め、全校生徒341名（10学級）、教職員33名でのスタートとなります。



【始業式 式辞より 一部抜粋】

コロナ禍の3年間、いろいろな制限が出され、やりたいこともできず、悔しい思いをたくさんしてきました。皆さんは、「この3年間、無駄な日々だったなあ」と思いますか。校長先生は、思いません。多くの人々が、感染して苦しんだり、お亡くなりになったりしたことは、とても悲しく、残念であり、また、とても不安でした。しかし、その中で、コロナ禍が過ぎ去るのを何もせずじっと待っていたわけではありません。コロナ禍の中だからこそできることは何かを考え、学んだこと、気づいたことはたくさんあります。ピンチはチャンス。これができなければ、こうすればできる。新しいことを生み出すチャンスである。そういう考え方が確かなものになったのは、コロナ禍の中でも自分の人生の大切な時間を無駄にしないぞという強い気持ちでいろいろと考え、努力してきたからだと思います。今年度からは、少しずつ、今まで制限されてきたこともできるようになっていくと思います。そうなったときには、コロナ禍の中で、学んだこと、気づいたこと、身についたことを生かして頑張ってください。

【入学式 式辞より 一部抜粋】

今、気持ちを新たに頑張ろうとしている皆さんに、三つ、お話しします。

一つ目、いろいろなことに積極的に挑戦してください。皆さんには、まだ表には現れていない、自分でも気づいていない力がたくさんあります。それを「可能性」と言います。その自分の可能性に気づき、伸ばしていくためには、失敗を恐れず、少しの勇気をもって、いろいろなことにチャレンジすることが大切です。きっと、自分の新たな才能を発見することができるでしょう。

二つ目、何事にも諦めず、最後までやり抜いてください。「成功するための秘訣は、成功するまでやり続けること」です。途中でやめてしまいたいと思った経験は誰にでもあります。しかし、厳しく長い登り坂も、あと少し頑張れば視界が広がり、美しい景色が目の前に現れる。それと同じです。きっと、やり遂げたことへの喜びと自信が、皆さんを一層高めてくれるでしょう。



そして、三つ目、友達を大切にしてください。友達は、人生の宝です。これからの中学校生活を共に過ごしていく中で、友達と協力して、ひとりではできない事に積極的に取り組んでください。「自分と友達との違いを思いやりの心で認め合う」、「自分がされて嫌なことは友達にはしない」、「大切なことはお互いに顔を合わせて話し合う」、それらのことを心掛け、学び合い、認め合い、励まし合いながら、友情を育ててください。きっと、一生の友達がたくさんできるでしょう。